企画政策課 66-1162

蒲郡市 浦添市（うらそえ） 共同企画

友好都市提携45周年





友好の歩み

本市と浦添市の友好関係は、昭和37年に愛知県が浦添市に「愛国知祖之塔」を建立したことから始まりました。昭和41年には、行政事務合理化の視察先として本市が浦添市に紹介され、米軍統治下で厳しい渡航制約がある中、浦添市の職員が事務研修で本市を訪問。これが交流の始まりとなりました。

沖縄の本土復帰以降は、市長や議員の視察、児童の来訪によるスポーツ交歓会などを通じ、産業や教育の分野でも交流を深め、そして昭和56年11月4日、市民会館で友好都市提携の調印式を行いました。以来、スポーツ団体や文化団体が互いに訪問し合うなど、活発な交流が続いています。

「てだこ」のまち 浦添

沖縄本島南部に位置する浦添市は、琉球王国発祥の地として歴史・文化が息づく一方、那覇市に隣接する利便性の高い都市として発展し、西海岸には美しい海が広がります。

人口：約11.5万人（本市：約7.6万人）　**面積：19.44km²（本市：56.96km²）**

「てだこ」とは…「太陽の子」を意味します。浦添を拠点に琉球第二の王統を築いた英祖王の母親が太陽を懐に抱く夢を見て身ごもったという伝説から、英祖王は「英祖のてだこ」という神号で呼ばれました。このことから、浦添市は「てだこのまち」と呼ばれています。

